

## 隣接する二つの時間間隔の知覚に関する研究

宮内, 良太

<https://doi.org/10.15017/458891>

---

出版情報 : Kyushu University, 2004, 博士 (芸術工学), 課程博士  
バージョン :  
権利関係 :

# 目次

第1章 序論	4
1.1 はじめに	4
1.2 リズムについて	6
1.3 リズムの生じる時間間隔	7
1.4 単音系列の知覚的な体制化	8
1.4.1 時間の格子	9
1.4.2 階層化	11
1.5 音声におけるリズム	13
1.5.1 英語のリズム	13
1.5.2 日本語のリズム	16
1.6 音楽におけるリズム	16
1.6.1 音楽の階層構造	17
1.6.2 リズムのカテゴリ化	18
1.7 隣接する時間間隔の知覚の重要性	21
1.8 分割時間の知覚	22
1.9 時間縮小錯覚	23
1.10 本論文の目的	25
1.11 本論文で用いた刺激条件について	27
1.12 本論文の構成	28
第2章 分割時間の知覚	30
2.1 目的	30
2.2 実験1: 数詞を用いた比率判断	30
2.2.1 目的	30
2.2.2 実験方法	30
2.2.3 結果と考察	33
2.3 実験2: 評価尺度に線分を用いる妥当性の検証	39
2.3.1 目的	39

2.3.2	実験方法	39
2.3.3	結果と考察	40
2.4	実験 3: 線分を用いた比率判断	43
2.4.1	目的	43
2.4.2	実験方法	44
2.4.3	結果と考察	45
2.5	実験 4: 刺激パターンの非類似度の測定	49
2.5.1	目的	49
2.5.2	実験方法	50
2.5.3	結果と考察	53
2.6	第 2 章のまとめ	62
2.6.1	強勢が主観的な比率に与える影響について	62
2.6.2	1:1 カテゴリについて	64
第 3 章 隣接する二つの時間間隔に生じる同化と対比		66
3.1	目的	66
3.2	実験 5: $t_1$ と $t_2$ の主観的等価値の測定	67
3.2.1	目的	67
3.2.2	実験方法	67
3.2.3	結果と考察	71
3.3	実験 6: 双方向の同化が生じる範囲について	79
3.3.1	目的	79
3.3.2	実験方法	79
3.3.3	結果と考察	80
3.4	実験 7: $t_1$ に生じる対比について	87
3.4.1	目的	87
3.4.2	実験方法	88
3.4.3	結果と考察	88
3.5	第 3 章のまとめ	91
3.5.1	時間間隔の同化	91
3.5.2	同化の生じる知覚メカニズム	92

3.5.3 双方向の同化や対比と 1:1 カテゴリとの関係 . . . . .	93
第 4 章 双方向の同化が生じるメカニズム	95
第 5 章 まとめ	105
引用文献	108
謝辞	112